

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 20 年 1 月 1 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	0770302255		
法人名	株式会社 エコ		
事業所名	グルーホーム かんりん		
所在地	〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字尾池南 1 - 1 (電話) 024-935-8100		
評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8043 福島県福島市中町4-20 みんなゆうビル302号室		
訪問調査日	平成20年10月9日	評価確定日	平成20年12月5日

【情報提供票より】(平成 20 年 9 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 1 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	14 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 13 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての 1 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	9,000円(2月~10月) 12,000円(11月~3月)
敷金	有(円) ● 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	● 有(19,950 円) 無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200 円

(4) 利用者の概要

利用者人数	18 名	男性	8 名	女性	10 名
要介護 1	8 名	要介護 2	2 名		
要介護 3	3 名	要介護 4	5 名		
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名		
年齢	平均 79.2 歳	最低	57 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	やぎぬまクリニック	しろくま歯科医院
---------	-----------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

八山田地区北部のバイパス国道4号から少し入った新興住宅地の一角にあり、同法人の高齢者専用賃貸住宅が隣接し、今後は交流も考えている。当事業所は2階建て日当たりも良く内部も開放感に溢れた造りになっていた。開設して3年目になり管理者を中心に職員のコミュニケーションがとられており、利用者は穏やかな雰囲気の中で生活できるよう支援されていた。事業所の年間行事では遠方への日帰り旅行なども企画されている。今年の8月より医療連携体制をとり、事業所の資質向上に努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回外部評価での改善項目であった災害時の避難階段の手すりの増設と備蓄については、手すりを増設し、食料品や飲料水も十分に準備していたことが確認できた。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は管理者が職員全員に説明して理解してもらい、管理者が中心になって全員で作成している。法人本部も評価内容を理解しておりサービスの向上に反映させるよう努めている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5)
	運営推進会議の開催は定期的に行なっている。会議の議題が、報告事項、予定事項、連絡事項と事業所からの説明が主体となっている。参加委員も固定化して、グループホームについての認識も高まってきている。今後は委員主体の会議になるように委員長の選任や、開催日の選定など考慮して委員からの意見が活発になるよう期待したい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	職員の手作りの広報誌「かんりんだより」を発行し、写真を載せた行事の報告や予定の案内、スタッフの紹介、ボランティア活動等お知らせしている。毎月、職員からのお便りと一緒に金銭出納のコピーと領収書等を送付している。家族の面会時には意見、要望等を聞き、運営に反映させるよう努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	町内会に加入して地域との関わりを深めている。回覧板での案内で「ふれあいコンサート」に参加し、ボランティアの協力を頂いている。事業所の催しは地域に案内を出し、参加を呼びかけている。可能な限り地域行事には参加し交流に努めている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の理念とは別に、事業所独自の理念を、職員全員で話し合い「地域密着型サービスの内容を目標に」作成した。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所の理念は玄関やホール壁の目の届くところに掲示してあり、外来者にも判るようにしている。スタッフ会議等で管理者は理念についてその都度説明している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、地域の行事には可能な限り参加するようにしている。事業所で作成した「かんりん便り」を回覧板で廻してもらい地域との関係を深めるよう努めている。事業所が主催した芋煮会は多くの方々に参加してもらい、交流も図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は職員全員に自己評価の意義を説明し、会議や日常の中で話し合い、職員全員で自己評価に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヵ月に1回定期的に行われており、サービス評価の内容も詳しく説明している。しかし、事業所からの報告事項が主体となっている。		今後は委員主体で内容を検討するなどして意見を吸い上げる工夫があればさらによいと思われる。
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、利用者家族には、金銭出納帳のコピー、買い物の領収書、受診記録と手書きのお手紙で利用者の状況報告、運営推進会議の資料等を送り、定期的に個々に合わせた報告となっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時に、気軽に意見や要望等を受けよう心がけており、些細なことでもすぐに対応し、反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は、利用者との馴染みの関係の重要性を十分認識しており、職員との話し合いを定期的に設けており、悩みなどの相談を受けたりして離職にいたらないよう努めている。職員が交代する場合は、慣れた職員とともに行動し利用者へのダメージを最小限に抑えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の質の向上については、法人全体で対応しており、新人研修、現任研修、計画作成者研修等行っている。職員は希望で外部研修に参加する事ができる。報告書を作成しスタッフ会議で発表しており、研修内容は職員全員で共有化できるような体制となっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じ郡山地区にグループホームが5カ所あり学習会等で意見交換や勉強会などを行っている。しかし、法人外のグループホームとの交流はされていない。	○	今後は、法人外の同業者とも交流され、サービスの質を向上させていくよう取り組まればさらに良いと思われる。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)	/		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として昔の話を聞いたり、ことわざや川柳の意味などを聞き、その奥の深さに感動したり、戦争の話を聞き、食べ物大切さを学び、一緒に過ごしながら支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	管理者は、一人ひとり人間として思いや意向が違うということを職員に伝え、「暮らしの情報」という書式で本人の思いの把握に努めている。お風呂に入りゆったりした時や、おやつの時間等に声かけの工夫をして把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケース会議やスタッフ会議等で職員が意見を出し合い、家族や関係機関などと意見を交換しながら介護計画が作られている。利用者の対応方法などについても話し合い介護計画に反映している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行い状態の変化があればその都度見直しを行い、ケース検討会議では再アセスメントがされている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている (小規模多機能居宅介護)	/		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を大切にし、馴染みの医師による継続した医療が受けられるように支援している。通院介助は職員や家族が対応し、良い関係が築かれるように努め、受診後は申し送りをして情報を共有し、家族へは月1回お手紙で報告している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の重度化や終末期の対応については職員も十分理解しており、家族に利用者の重度化と終末期のあり方について方針を示し、事前に書類で確認し同意を得ている。状態の変化に応じて繰り返し話し合いをして、全員で方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	管理者、職員は利用者のプライバシー確保について理解し、日常からミーティング等で話し合い、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないよう努めている。また各利用者等に「個人情報利用同意書」について説明し、同意を得ている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々利用者の体調や思いに配慮しながら、本人がしたいと思っていることをその都度確認し、希望を把握しながら支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を取り入れ、馴染みの食器を利用し、職員と利用者は一緒に食事を楽しんでいる。利用者の能力に応じ食事の下ごしらえや後片付けを一緒に行っている。外食の際、ラーメンを食べに行くことは楽しみの一つになっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の生活習慣や希望に合わせて計画し、曜日に関係なく入れるよう支援をしている。職員は、利用者の羞恥心等に十分配慮して対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	アセスメントをし、利用者の「暮らしの情報」に記録している。生活歴の中から利用者の楽しみごとの把握をして、能力が発揮できるよう場面作りをし、支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	年間を通して四季の催し物の他、利用者の希望やその時の体調に合わせて、戸外に出かけられるよう支援している。近くのホームセンターの園芸売場が特に好きなスポットである。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を理解し、事業所の玄関は施錠していない。玄関にはセンサーがつけられており、職員がさりげなく見守り、外出の気配を察知し、一緒に散歩するなどして対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を年2回計画し、内1回は夜間を想定した訓練を実施している。運営推進会議でも地域住民の方々の協力を呼びかけ、更に連携の強化を図れるよう話し合っている。災害時の備蓄も準備されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表で食事の摂取量や水分量を記録して、職員全員で情報を共有している。栄養士がカロリー計算したメニューを基本にして、利用者の状態に応じて工夫し対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	1階、2階とも共用空間は広く、特に食堂、居間はゆったりしており、居間の一部に掘コタツもある。壁掛けの大型テレビが設置され利用者は、長椅子など好みの場所で過ごしている。台所も広く、調理や後片付けなどの手伝いも邪魔にならない造りになっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には、トイレ、洗面所が設置されており、利用者は家庭より馴染みの物を持参して思い思いに利用し快適に過ごしている。		

※  は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホームかんりん

記入担当者名 村上 敦子

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。